

安全データシート

【1 化学物質等及び会社情報】

社名 公益社団法人日本セラミックス協会
住所 東京都新宿区百人町 2-22-17
担当 標準化委員会
TEL (03) 3362-5231
FAX (03) 3362-5714
作成 平成 19 年 10 月 15 日
改定 平成 28 年 7 月 8 日
改定 令和 5 年 10 月 27 日

製品名

(社) 日本セラミックス協会標準物質 JCRM R 604 蛙目粘土

【2 危険有害性の要約】
GHS 分類

GHS分類 :
【健康に対する有害性】
生殖細胞変異原性 : 区分2
発がん性 : 区分1A
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分1 (呼吸器、免疫系、腎臓)
【GHSラベル要素】 絵表示またはシンボル



【注意喚起用語】 危険
【危険有害性情報】

- H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
- H350 発がんのおそれ
- H372 長期にわたるまた反復ばく露による臓器の障害

【注意書き】

『安全対策』

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・粉じん/ミスト/スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱い後は手をよく洗うこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・指定された個人用保護具を使用すること。

『応急措置』

- ・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。

『保管』

- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

『廃棄』

- ・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

【他の危険有害性情報】

・粉じんを吸入すると、肺に影響を与え、線維症 (珪肺症) を生じることがある。また、大量に吸入または経口摂取すると、嘔吐・腹痛・下痢の症状を起こすことがある。

【3 組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	カオリン、石英、他
CAS No.	(カオリン)1332-58-7 (SiO ₂)14808-60-7
成分	SiO ₂ 47.9 mass%
	Al ₂ O ₃ 35.4 mass%
	Fe ₂ O ₃ 1.4 mass%
	TiO ₂ 0.9 mass%
	CaO 0.2 mass%
	K ₂ OIg. loss 0.5 mass%
	13.4 mass%

化学式	Al ₂ O ₃ ・2SiO ₂ ・2H ₂ O、SiO ₂ 他
含有量	90%以上
官報公示整理番号 (化審法)	(SiO ₂)1-548

【4 応急措置】

吸入した場合	: 速やかに新鮮な空気のある場所に移し、体を毛布等でおおい、保温、安静に保った後、医師の診察を受ける。呼吸が弱い場合及び呼吸が停止している場合は、衣類を緩め、呼吸道を確認したうえで、人工呼吸を行う。呼吸困難の場合には、酸素吸入を行う。
皮膚に付着した場合	: 直ちに汚染された衣服、靴等を脱ぎ、付着した部分を水又は石鹼水でよく洗い流す。もし、皮膚に炎症を生じた時は、医師の診察を受ける。
目に入った場合	: こすらずに直ちに清浄な流水で最低 15 分以上洗眼する。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗浄する。洗眼の際は、瞼を指でよく開き、眼球及び周囲を十分洗う。薬品で中和したり、目に軟膏や油を塗ってはならず、速やかに医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	: 清浄な水で口の中をよく洗浄し、意識がはっきりしていたら水を飲ませ嘔吐させた後、医師の診察を受ける（無理に嘔吐させない）。意識がはっきりしていない場合、意識がない場合は、水を飲ませてはいけない。また無理に嘔吐させないで速やかに医師の診察を受ける。
応急処置をする者の保護	: 情報なし
医師に対する特別注意事項	: 情報なし

【5 火災時の処置】

消火剤	本品は可燃性ではない。周辺の火災状況に適する消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	特になし
特定の消火方法	不燃性：周辺火災の場合の処置は次による。 ・容器を安全な場所に移動する。 ・移動不可能な場合は容器を破損しないように注水し冷却する。 ・周辺火災の消火に努める。
消火を行う者の保護	消火作業は、吸入、暴露を避けるため風上より行い、空気呼吸器や循環式酸素呼吸器を着用し、不浸透性の保護衣、防火服、ゴム長靴を着用する。
火災時の特定危険有害性	情報なし（製品は不燃性である）

【6 漏出時の処置】

人体に関する注意事項	漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。風下では作業しない。
保護具及び緊急措置	作業の際には、暴露防止のために防塵マスク、ガスマスク、化学用ゴーグル、ゴム長靴及び厚手ゴム手袋などの保護具を着用する。
環境に対する注意事項	下水道、河川、湖沼、海域等に流出しないよう注意する。
回収方法	
大量の場合	土砂等で流れを止め、適宜の方法により空容器に回収する。
少量の場合	掃除機などの集塵装置で回収する。
二次災害の防止策	飛散するダスト（粉立ち）を避ける。

【7 取扱い及び保管上の注意】	<p>【取扱い】 取扱者の暴露防止</p> <p>安全取扱注意事項</p> <p>【保管】 保管上の注意事項</p>	<p>粉じんの発生を抑え、適切な換気を行う。皮膚に触れたり、目に入らないようにゴム手袋、保護眼鏡を着用する。また、粉末を吸入しないように防塵マスクを着用する。</p> <p>容器は、転倒、落下、衝撃を加たり等の粗暴な取扱いをしない。水に濡れると滑りやすくなるので注意する。</p> <p>取扱い後は、うがい手洗いを十分に行なう。</p> <p>直射日光及び高温多湿の場所を避け、密封して保管する。透湿性の容器は避ける。</p>
【8 暴露防止及び保護措置】	<p>【管理濃度】 【許容濃度】 日本産業衛生学会 ACGIH</p> <p>【設備対策】</p> <p>【保護具】 呼吸器の保護具 手の保護具 目の保護具 身体の保護具</p>	<p>設定されていない。</p> <p>0.03mg/m³（吸入性結晶質シリカとして） TWA 2.0 mg/m³（カオリンとして） TWA 0.025mg/m³（結晶質シリカとして）</p> <p>粉じんが作業場の空気を汚染しないよう、取扱場所には、局所排気設備を設置する。また取扱場所の近くにシャワー、手洗い、洗眼装置を設けその位置を明示する。</p> <p>必要に応じて防塵マスクを着用する。 必要に応じてゴム手袋を着用する。 必要に応じて保護眼鏡、又は防災面を着用する。 暴露の状況を考慮し、適切な保護衣、安全靴を着用する。</p>
【9 物理的及び化学的性】	<p>【物理的状态】 形状 色 臭い 【物理状态が変化する特定の温度/温度範囲】 pH 融点 凝固点 初留点と沸点範囲 【引火点】 【蒸発速度】 【燃焼性】 【爆発特性】 爆発限界下限 爆発限界上限 【蒸気圧】 【蒸気密度】 【密度】 【溶解度】 【n-オクタノール/水分係数】 【自然発火温度】 【分解温度】</p>	<p>固体（粉末） 薄茶色 無臭</p> <p>情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし</p>
【10 安定性及び反応性】	<p>【化学的安定性・反応性】 : 通常取扱条件（常温）では安定している。</p> <p>【危険有害反応性の可能性】 : (SiO₂) 強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。強酸・フッ化水素と反応する。</p> <p>【避けるべき条件】 : 情報なし</p> <p>【混触危険物質】 : 強酸・フッ化水素</p> <p>【危険有害な分解生成物】 : 情報なし</p>	

【11 有害性情報】	<p>【急性毒性】 【局所効果】 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・刺激性 呼吸器感受性 皮膚感受性 【生殖細胞変異原性】 【発癌性】</p> <p>【生殖毒性】 【特定標的臓器毒性（単回暴露）】 【特定標的臓器毒性（反復暴露）】</p> <p>【誤えん有害性】</p>	<p>情報なし</p> <p>皮膚を刺激する可能性がある 眼を刺激する可能性がある 情報なし 情報なし 情報なし (SiO₂) IARCグループ 1 人に発癌性がある (カオリン)ACGIH A4 人における発がん性が分類できていない物質。 情報なし 情報なし (SiO₂) 肺に影響を与え、繊維症（珪肺症）を生じることがある。人で発癌性を示す。 (カオリン)粉塵粒子への反復または長期の暴露により、肺が冒されることがある。肺に影響を与え、線維症(カオリン塵肺症)、機能障害を生じることがある。(石英)線維症（珪肺症）を生じることがある。 情報なし</p>
【12 環境影響情報】	<p>生態毒性 残留性/分解性 生体蓄積性 土壌中の移動性</p>	<p>情報なし 情報なし 情報なし 情報なし</p>
【13 廃棄上の注意】	<p>残余廃棄物：都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容を明示して処理を委託する。 当品を含む排水は排水溝に廃棄せず、ろ過にて除去後に排出する。 汚染容器及び包装：容器は清浄してリサイクルするか、関連法規に並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>	
【14 輸送上の注意】	<p>国際規制によるコード及び分類に関する情報 国連分類：該当せず 国連番号：該当せず 容器等級：該当せず 海洋汚染物質：該当せず</p> <p>輸送の特定の安全対策及び条件 ・各種法規を遵守しなければならない。 ・容器の転倒、落下、摩擦等によって損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に 行う。また高温高湿、水濡れを防止する。</p>	

【15 適用法令】

消防法 : 該当せず
労働安全衛生法 : 粉じん障害予防規則 第2条1項 別表第1 十三
施行令第18条の2 [名称を通知すべき有害物質]
別表第9 165の2 結晶質シリカ
大気汚染防止法 : 該当せず
水質汚濁防止法 : 該当せず
土壌汚染対策法 : 該当せず
PRTR 法 : 該当せず
毒劇法 : 該当せず

【16 その他の情報】

- 1) 化学便覧：基礎編 改訂3版 日本化学会編
- 2) 化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編

<注意>

この安全データシートは、製品の安全な取扱いを確保するため、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、全ての情報を網羅しているわけではありませんので、お取扱いにはこの情報に基づき自らの責任において適切な処置を講じてください。

本SDSの記載内容は、情報提供であり記載した製品の取扱い上のいかなる保証をするものではありません。ご使用になるお客様の使用目的や使用した結果につきまして、いかなる責任を負うものではありません。